

平成 29 年 度

# 事 業 報 告 書

自 平成 29 年 1 月 1 日

至 平成 29 年 12 月 31 日

公益財団法人 馬事文化財団

# 目 次

<b>I 根岸競馬記念公苑における事業</b> .....	1
<b>1 馬の博物館の事業</b> .....	1
(1) 特別展示等 .....	1
(2) テーマ展 .....	2
(3) 常設展示 .....	3
(4) 馬事博物資料等の調査・研究 .....	3
(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行 .....	3
(6) 馬事博物資料の収集 .....	4
(7) 資料の貸出 .....	4
(8) 資料の管理・保管 .....	4
(9) サクラウィーク等特別イベント .....	5
(10) 馬に関する講演会等 .....	5
(11) 他館との交流 .....	6
(12) 外国人観光客の誘致 .....	6
(13) 日本中央競馬会主催の研修への参加 .....	6
(14) 文化庁主催の研修への参加 .....	6
<b>2 馬展示事業</b> .....	7
(1) 馬の展示 .....	7
(2) ふれあいイベント .....	7
(3) 春秋特別イベント .....	8
(4) 厩舎管理等 .....	9
<b>3 馬文化の保存</b> .....	9
(1) 馬事伝統行事保存事業 .....	9
(2) 在来馬種保存事業 .....	9
<b>4 施設の管理運営及び公苑の整備</b> .....	10
<b>5 入館者・入苑者</b> .....	10
<b>II JRA 競馬博物館の事業</b> .....	10
<b>1 展示及び調査・研究</b> .....	10
(1) ギャラリー .....	11
(2) テーマコーナー .....	11
(3) 特別展示室 .....	12
(4) エントランスホール .....	12
(5) 移動展示 .....	12

(6) 常設展示機器等 .....	12
(7) 「馬の学び舎ミュージアム・ホール」 .....	12
(8) 競馬博物資料等の調査・研究 .....	14
(9) 競馬博物資料の収集 .....	14
(10) 資料の貸出 .....	14
(11) 資料の管理・保存 .....	14
(12) ワークショップ等普及イベント .....	14
2 案内業務及び入館者 .....	17
<b>III 競馬振興会館 (Gate J.) の事業</b> .....	18
1 Gate J. 新橋の事業 .....	18
2 Gate J. 梅田の事業 .....	18
3 入館者 .....	19
<b>IV 広報活動</b> .....	19
1 馬の博物館 .....	19
2 JRA 競馬博物館 .....	20
3 Gate J. 新橋・梅田 .....	20
<b>V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集</b> .....	20
<b>VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況</b> .....	21
1 受入れ状況 .....	21
2 使用状況 .....	21
<b>VII 庶務</b> .....	21
1 評議員に関する事項 .....	21
2 役員等に関する事項 .....	21
(1) 役員 .....	21
(2) 参与 .....	21
(3) 職員及び組織図 .....	22
3 評議員会及び理事会 .....	22
(1) 評議員会 .....	22
(2) 理事会 .....	23
別添資料 I 「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」 イベント一覧 .....	24
別添資料 II 寄附金・募金の受入れ状況 .....	26

# 平成 29 年度 事業 報告

平成 29 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において様々な事業を実施しました。特に、同年度は根岸競馬記念公苑・馬の博物館が開苑・開館 40 周年の記念の年にあたるため、年間を通じて充実した展示や各種イベントを実施いたしました。

## I 根岸競馬記念公苑における事業

### 1 馬の博物館の事業

#### (1) 特別展示等

馬の博物館開館 40 周年記念展として、『所蔵名品展 馬の美術 150 選—山口晃「厩圖 2016」完成披露—』を開催しました。

本展では、当財団がこれまで収集してきた美術工芸品の中から 150 点を精選し、会期を 3 回に分けて展示しました。また、当館所蔵の山口晃作「厩圖屏風 2016」の完成披露を兼ね、新作品等を借用し、展覧会の充実を図りました。

また、10 月 1 日には山口晃のトークショーを行い、展示作品や制作活動についてのお話しをいただきました。

春季特別展は『安野光雅の世界—歴史絵本に描かれた“名馬面”—』を開催しました。本展では、画家・絵本作家・装丁家・エッセイストとして、世界的に活躍されている安野光雅の代表作のなかで、多数の馬が登場する『繪本 平家物語』『繪本 三國志』『旅の繪本』の 3 シリーズから 50 点の原画を厳選して展示するとともに『繪本 平家物語』の下絵 6 点や関連書籍も展示しました。この他、展示作品を解説したビデオ上映（「安野光雅の世界」津和野町立安野光雅美術館提供）を行いました。

また、関連イベントとして、ギャラリートーク（4 月 30 日 講師：安野光雅美術館副館長 齋藤道夫氏）やトークショー（5 月 13 日 講師：獣医師 竹田津実氏）の他、親子向けイベントとして、ワークショップ「キミだけの絵本をつくろう！」（5 月 5 日、28 日）、「安野光雅氏の絵本」お話会（5 月 14 日、21 日）を実施し、安野光雅ファンだけでなく幅広い層をターゲットとした企画を通じて、新規入館者の獲得を図りました。

秋季企画展は、『馬をめぐる武将たち』を開催しました。南北朝時代から戦国時代にかけて活躍した武将の公的な命令文書や私的な書状（手紙）には馬のことが記されたものがあり、領国の支配、拡張等にとって馬がいかに重要であったかが伺えます。企画展では、このような馬を愛した武将の手紙と、彼らに関わる絵画・工芸品など 43 点を展示しました。

展覧会は内容を 7 章に分け、「I 室町期の武将と神社」では上杉朝宗の書状と鶴岡八幡宮に関する奉納品と絵画類、「II 小田原北条氏と街道」では最

近発見された北条時長等の肖像画と宿場の文書、「Ⅲ今川氏と宿場の風景」では東海道丸子宿に関わる絵画・版画や兜、「Ⅳ馬の贈答と合戦」では羽柴秀吉と毛利氏の武将が交わした書状類、「Ⅴ天下人が馬を見る」では秀吉と馬の献上にかかわる書状と絵画、「Ⅵ馬好きの伊達政宗」では政宗の馬に寄せる思いを記した書状、「Ⅶ徳川家康の大切な馬」では家康が東海道の宿場に出した命令書や江戸期の馬医書を展示しました。

11月23日には記念講演会を実施し、丸島和洋氏（慶應義塾大学非常勤講師）及び江田郁夫氏（栃木県立博物館）からそれぞれ「戦国大名の軍隊における騎馬衆」及び「信長が歓喜した東国の名馬」を演題とするお話をいただき、一般参加者は83名に及びました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
9.9～10.29	開館40周年記念展「所蔵名品展 馬の美術150選 —山口晃「厩圖2016」完成披露—	第2・3展示室等
4.22～6.4	春季特別展「安野光雅の世界 —歴史絵本に描かれた“名馬面”—	第2・3展示室
11.3～12.3	秋季企画展「馬をめぐる武将たち」	第2展示室
11.5～12.2	UMARTs2017	第3展示室

## (2) テーマ展

『物語の中の馬』では、当館所蔵資料の中から、馬が登場する物語を描いた美術作品約50点を紹介しました。

『競馬レトロポスター展』では、昭和20年代に制作された「国営競馬」の開催告知ポスター20点を展示するとともに、当時の活躍馬などを紹介しました。

『文明開化と馬の浮世絵』では、乗馬をする外国人、乗合馬車、馬車鉄道など、当時の新たな題材を描いた浮世絵として、幕末期から明治5年（1872年）までに制作された「横浜絵」と、明治5年から同10年までに制作された「開化絵」を展示しました。

『馬のイラストレーター おがわじゅり原画&複製原画展』は、現在大人気のおがわじゅり初の個展として開催し、アマチュア時代の作品から、新作まで、厳選したイラストやグッズを一堂に紹介しました。また4月9日にはトークショー&サイン会を行いました。

『やまとなでしこ・女性騎手の先達と変遷』は、わが国における女性騎手の先達から、中央・地方競馬で活躍した騎手、そして現在活躍中の騎手にスポットを当てました。女性騎手に関する本格的な展覧会は初めてで、多くのマスコミやファンの方がお見えになりました。

『江戸時代の町と馬』は、貞享2年（1685年）の江戸図を初公開するとともに、江戸の町の馬が描かれた錦絵を展示したほか、「江戸名所図会」の中の馬が描かれている挿絵類を写真パネルで紹介しました。

『UMARTs2017』は、財団と武蔵野美術大学が提携したアートプロジェクト

トで、同大学芸術文化学科の学生 15 名が展覧会のほか、子供向けワークショップ（11月5日、25日）をプロデュースしました。同プロジェクトは5年目となりましたが、今年と同大学出身作家 18 名が絵画、彫刻、工芸と多ジャンルに亘って出品し、馬と馬文化の魅力を現代アートの目線で紹介しました。

『走る馬の展覧会』は、当館所蔵作品の中から馬が走る姿が描かれた日本の美術作品を中心に、鞍や鐙などの馬具や根岸競馬場ゆかりの資料など約 30 点を展示し、作品の中で馬が走る姿をお楽しみいただくとともに、馬が多様な役割を担ってきたことを紹介しました。

『騎手をめぐる美術』は、当館が所蔵する国内外の絵画や彫刻などに表された騎手たちの姿をクローズアップし、資料解説とともに題材となった著名騎手のエピソードなどを紹介しました。

[第 2 展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H28. 12. 10～H29. 2. 19	物語の中の馬
2	2. 24～4. 16	文明開化と馬の浮世絵
3	6. 10～9. 3	やまとなでしこ・女性騎手の先達と変遷
4	12. 12～H30. 2. 18	走る馬の展覧会

[第 3 展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H28. 12. 10～H29. 2. 19	競馬レトロポスター展
2	2. 24～4. 16	馬のイラストレーター・おがわじゅり原画&複製原画展
3	6. 10～9. 3	江戸時代の町と馬
4	11. 5～12. 2	UMART s 2017 うまからうまれるアート展
5	12. 12～H30. 2. 18	騎手をめぐる美術

(3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第 1 展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第 2 展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第 4 展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

平成 30 年度開催予定の春季特別展開催準備のため、丸亀市立猪熊弦一郎現代美術館（香川県丸亀市）及び香川県立ミュージアム（同県高松市）において調査を行いました。

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	開館 40 周年記念所蔵名品展 馬の美術 150 選
2	図録	馬をめぐる武将たち
3	紀要	馬の博物館研究紀要 第 20 号

(6) 馬事博物資料の収集

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料の購入を行いました。

① 購入した資料（1点 20万円以上）

	資料名	
1	南蛮人蒔絵鏡	1 双
2	黒漆塗海有水干鞍・鏡	1 式
3	銅造馬頭観音菩薩立像	1 軀
4	羽柴秀次朱印状	1 幅
5	伊達政宗書状	1 幅
6	上杉朝宗書状	1 幅
7	名所風俗図屏風	6 曲 1 隻

② 寄贈を受けた資料

	資料名	
1	根岸競馬場スタンド設計者 J. H. モーガン関係写真 (スタンド写真計 3 点、その他 58 点)	
2	馬・競馬関係切手 (初日カバー) 計 3 件	
3	競馬用鞭 (武豊騎手・幸英明騎手専用モデル) 計 2 本	
4	ドバイ・国際女性騎手招待ファイナルラウンドプログラム	1 点
5	韓国・国際カップ当日レーシングプログラム	1 点
6	マカオ・国際男女騎手招待競走当日プログラム	1 点

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	競馬漫画『駄馬コマンコスキー』『ごあいきょダッフィー』(野口アキラ作) 原画 2 点、単行本 8 冊	(株)中央競馬ピーアール・センター	10. 4～11. 1
2	ブロンズ像「トキノミノル号」「シンザン号」	JRA 本部	11. 8～ H30. 11. 7
3	平家物語図屏風 6 曲 1 双	埼玉県立嵐山史跡の博物館	11. 22～ H30. 3. 9

(8) 資料の管理・保管

- ① 新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ② 害虫対策として、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室の床面消毒を実施しました (8 月 20 日、21 日)。
- ③ 浮世絵等の資料保存・展示有効活用のためマット加工を行いました。
- ④ 展示資料の退色防止等のため LED スポットライトを購入し、一部の展示室に設置しました。

(9) サクラウィーク等特別イベント

① 「サクラウィーク」イベント（3月18日～4月9日）

春休み期間中にファミリー向けの企画として以下の催しを行いました。

- ・ワークショップ「レジンで馬のブローチをつくろう」  
（3月26日、4月1日）
- ・ポニー苑内てくてくさんぽ（3月20日、4月1日）
- ・にんじんタイム&在来馬保護チャリティー（3月18、25日、4月1日）
- ・ミニ試乗会（4月9日）

② 「夏休み」イベント（7月15日～8月31日）

主に夏休み期間中のお子様向け企画として以下の催しを行いました。

- ・夏休み自由研究相談「馬について学ぼう！」（7月30日、8月3日）
- ・お絵かきイベント「ポニーセンターの馬をえがいてみよう」  
（7月23日、8月13日）
- ・夏休み工作教室「馬のペーパークラフト」「お絵かき陶器のお馬さん」  
（7月29日、8月12日）
- ・クイズラリー「ハイカラケイバを学んで 候<sup>そうろう</sup>」（7月15日～8月6日）
- ・馬の博物館×根岸森林公園「夏休みスタンプラリー」  
（8月8日～31日）

③ 「馬の博物館開館40周年記念感謝期間特別イベント」

（9月16日～10月29日）

馬の博物館開館40周年を記念し、開館記念日の10月2日前後を「お客様感謝期間」として各種イベントを行いました。

- ・開館40周年記念グッズプレゼント（9月16日～10月29日）
- ・ワークショップ「レジンで馬のストラップ・ネックレスをつくろう」  
（9月16、23日）
- ・ポニー苑内てくてくさんぽ（9月18日、10月9日）
- ・ミニ試乗会（9月24日）

④ 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」（12月17日）

横浜市等が主催する「クラシック・ヨコハマ2017」の一環として、馬の博物館イベントホールにて、横浜市民広間演奏会の皆様にコンサートを披露していただきました。ご家族連れの皆様に喜んでいただける楽曲を中心に、楽しく盛況に行われました。

(10) 馬に関する講演会等

① 講演

一般社団法人機動隊員等を励ます会（講座名「競馬の始まりから現在まで」）、一般社団法人東京馬主協会（講座名「近代競馬の黎明・根岸競馬場」）等の依頼により馬事・競馬文化を普及・啓発する講義を依頼先にて実施しました。

公益財団法人いきいき埼玉と埼玉県浦和競馬組合共催の「馬事文化と競馬の楽しみ」カリキュラムとして埼玉県県民活動総合センター（講座



名「日本における馬の歴史と文化」と馬の博物館において、馬事・競馬に関する文化についての講義を実施しました。

NPO 法人引退馬協会と NPO 法人歴史的建造物とまちづくりの会共催の「日本近代競馬の黎明シンポジウム&コンサート」を馬の博物館イベントホールにて行い、「お話しと音楽でたどる日本近代競馬黎明期」の講義を実施しました。

また、東京農業大学、日本獣医生命科学大学、明治大学、龍谷大学、武蔵野美術大学、国際動物専門学校等動物系専門学校及び浦和競馬場騎手会等競馬関連団体の校外学習の受け入れに積極的に応じ、各々の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。

② 学芸員課程学生の博物館実習（7月29日～8月11日）

専修大学・女子美術大学・立正大学・日本女子大学・聖心女子大学・東京農業大学・日本大学より7名の実習生を受け入れました。

(11) 他館との交流

横浜市中区の市立中図書館で1月17日から1月31日まで開催された「中区郷土パネル展『根岸競馬場の歴史』」では、幕末の競馬場開設から太平洋戦争によって閉場に至るまでの76年の歴史が写真や関連資料で紹介され、当財団は、写真や文字データを提供し協力しました。

山手歴史文化研究会主催の山手居留地150周年「中区制90周年・開港記念会館100周年記念連携事業」パネル展（会期：11月9日～22日、会場：エリスマン邸）の開催に際し、当財団は写真や文字データを提供し協力しました。

博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、神奈川県博物館協会等が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。

また、各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を行いました。

(12) 外国人観光客の誘致

中国国営の旅行社と連携して中国人観光客を誘致しました。展示及び体験乗馬共に好評で今後も継続することとなりました。

4月23日（8名）、10月5日（7名）

(13) 日本中央競馬会主催の研修への参加

関係団体若手プロパー職員研修（6月10日、11日）及び関係団体プロパー職員研修（9月23日、10月4日）にそれぞれ参加しました。

(14) 文化庁主催の研修への参加

ミュージアム・エデュケーター研修（9月6日～8日）に参加しました。

## 2 馬展示事業

### (1) 馬の展示

博物館事業の一環として行う実馬展示については、多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。また、展示馬については、高齢によりサラブレッド種の龍輝号（20歳）からベルギー温血種のゴーチェ号（11歳）に、ウェストファーレン種グッバイレディ号（24歳）からベルギー温血種ヴァオドゥー号（19歳）への入れ替えを実施し、現在 11 頭の展示馬を繋養しています。

展示馬一覧表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ペルニー	中半血	茶斑	1998年 推定	19	セン	不詳	102cm	2008. 4. 25 函館競馬場より受贈
2	ミカン	野間馬	栗毛	2010年 5月	7	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会 より借受
3	ゆき	北海道和種	河原毛	2011年 4月	6	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
4	ホワイト ミニ	ミニチュアホース	駁栗	1998年 4月	19	セン	音更町	85cm	2013. 12. 11 競馬学校より 受贈
5	マイネル キット	サラブレッド	栗毛	2003年 3月	14	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラブ ラ・フィアンより受贈
6	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年 6月	12	セン	オランダ	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より 受贈
7	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年 3月	14	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラブ ラ・フィアンより受贈
8	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年 3月	3	セン	与那国島	117cm	2016. 3. 8 購入
9	スカニア	ハフリンガー	尾花栗毛	1994年 5月	23	牡	標茶町	145cm	2016. 5. 19 美浦 TC より 受贈
10	ゴーチェ	ベルギー温血種	黒鹿毛	2006年 4月	11	セン	ベルギー	166cm	2017. 9. 7 競馬学校より 受贈
11	ヴァオド ゥー	ベルギー温血種	芦毛	1998年 6月	19	セン	ベルギー	175cm	2017. 12. 6 栗東 TC より 受贈

### (2) ふれあいイベント

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるとともに、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下のイベント等を実施しました。

#### ① 馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬等

毎月第1日曜日と第3日曜日（1・2・5・8・11月は第3日曜日のみ実施）に、馬の博物館入館者を対象とした乗馬デー（体験乗馬及び馬車の試乗会）を開催しました。また、3・4月の「サクラウィーク」並びに9月の「シルバーウィーク」において、馬事イベントを一層充実させるとともに、そのほかの日・祝日においても、ミニ乗馬デー（体験乗馬のみ）や苑

内散歩しているポニーと触れ合っていたかく、てくてくさんぽ等を実施しました。

② にんじんタイム

毎週土曜日に、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんを与え、馬に触れることのできる機会を提供しました。

③ 体験学習講座

秋季に、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う「一日愛馬教室」(9月10日、18日)を開催しました。

④ その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、にんじんを与え、馬に触れることのできる体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れました。

(職業体験学習) 横浜市立根岸中学校(2年)4名 2月1日

横浜市立岡村中学校(2年)4名 2月1日

(厩舎作業体験) 私立清泉小学校教諭1名 10月14日

その他、在来馬等の展示馬を活用し、JRA や外部団体等のイベントへの協力を行いました。

・米海軍池子フレンドシップデーへの協力

4月29日(主催:米海軍横須賀基地池子支所)

・JRA ウインズ横浜への協力

4月30日(主催:JRA ウインズ横浜)

10月29日(主催:JRA ウインズ横浜)

・JRA ウインズ新横浜への協力

8月5・6日(主催:JRA ウインズ新横浜)

・動物感謝デーへの協力

9月30日(主催:日本獣医師会)

・馬車道まつりにおける馬との親しむイベントへの協力

11月3日(主催:馬車道商店街協同組合)

・地域連携市民講座への協力

11月22日(主催:國學院大學)

(3) 春秋特別イベント

春季はゴールデンウィーク期間中の5月5日“こどもの日”に『馬とあそぼうこどもの日』として開催しました。JRA 東京競馬場の協力による「アンダルシアンホースダンス」(1頭)の披露、体験乗馬や馬車の試乗会、隣接する森林公園での在来馬とのふれあいイベントに加え、聖光学院吹奏楽部のコンサート、JR 東日本根岸駅、市電保存館及び在来馬の故郷である沖縄県や木曾町役場とのコラボイベント等を行いました。

秋季は、11月5日に『馬とのつどい2017』を開催し、大日本弓馬会による伝統馬事芸能「流鏝馬・笠懸」の披露のほか、馬車道発横浜アイドル「ポニカロード」のスペシャルライブ、武蔵国府太鼓の演奏、クラシック・ヨコハマによるコンサート等近隣や関連団体とのコラボイベントを中心に、充実した内容で実施しました。

実施日	催物（集客）	内容
5.5	馬とあそぼう こどもの日 (来場者 10,700人・対前年比 64.1%)	アンダルシアンホースダンス(協力：JRA 東京競馬場)、市電保存館による鉄道模型展示、聖光学院吹奏楽部コンサート、蹄鉄造りの実演(協力：JRA 競馬学校)、馬のゆるキャラ紹介・記念撮影会、在来馬のふるさと物産展(協力：沖縄県・木曾町役場)、サワー沢口のものまねライブ、JR 東日本「根岸駅」による駅員体験イベント 馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会、在来馬とのふれあいイベント 他
11.5	馬とのつどい 2017 (来場者 6,900人・対前年比 102.8%)	大日本弓馬会による流鏝馬・笠懸、蹄鉄造りの実演(協力：JRA 競馬学校)、馬車道発横浜アイドル「ポニカロード」スペシャルライブ、JR 東日本「根岸駅」による駅員体験イベント、馬のゆるキャラ紹介・記念撮影会、在来馬のふるさと物産展(協力：木曾町役場)、クラシック・ヨコハマコンサート、武蔵国府太鼓の演奏(協力：武蔵和駒) 馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会、在来馬とのふれあいイベント 他

#### (4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理を行い、お客様への快適な展示環境の提供に努めました。

### 3 馬文化の保存

#### (1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を行う 43 団体に対して助成金を交付しました。

#### (2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を行う団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、平成 29 年度においては Gate J. 出張イベントとして、全国の主要競馬場等において「在来馬保護チャリティーイベント」を 13 回実施しました。

#### 4 施設の管理運営及び公苑の整備

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に行い公苑の整備と美化に努めたほか、苑内の案内看板及びベンチの補修等を行いました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

#### 5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館日数	入館者数					開苑日数	入苑者数(概数)	1日平均
		大人	小人	団体	合計	1日平均			
1月	24日	890	322	277	1,489	62	24日	21,749	906
2月	21日	1,380	394	170	1,944	93	24日	31,598	1,317
3月	29日	1,815	543	1,629	3,987	137	29日	29,390	1,013
4月	23日	2,452	673	1,785	4,910	213	27日	54,780	2,029
5月	27日	4,189	1,653	715	6,557	243	27日	48,220	1,786
6月	22日	1,038	263	243	1,544	70	26日	24,390	938
7月	27日	971	368	160	1,499	56	27日	12,080	447
8月	27日	1,146	387	144	1,677	62	27日	11,750	435
9月	23日	1,428	342	165	1,935	84	27日	20,400	756
10月	26日	1,504	205	576	2,285	88	26日	18,900	727
11月	24日	2,882	1,041	390	4,313	180	26日	26,140	1,005
12月	15日	794	278	434	1,506	100	23日	16,100	700
29年計	288日	20,489	6,469	6,688	33,646	117	313日	315,497	1,008
28年計	290日	23,981	6,770	5,192	35,943	124	314日	348,158	1,109
前年比(%)	99.3	85.4	95.6	128.8	93.6	94.4	99.7	90.6	90.9

\*1日最高入館者数 3,387人 5月5日

\*1日最高入苑者数(概数) 10,700人 5月5日

☆(参考)27年の入館者合計26,734人(27年比125.9%)

☆(参考)27年の入苑者合計284,145人(27年比111.0%)

\*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
165	123	328	1,278	0	381	48	4,314	51

## II JRA 競馬博物館の事業

### 1 展示及び調査・研究

年初には、前年から引き続き『馬事文化財団創立40周年記念 根岸競馬場開設150周年記念 ハイカラケイバを初めて<sup>そうろう</sup>候』を開催しました。同展では、わが国初の本格的洋式競馬施設“根岸競馬場”の歴史・沿革・概要のほか当時活躍した人馬の関係資料を紹介するとともに、東京・京都競馬場で開催される天皇賞競走が根岸競馬場で開催されたミカドズベース競走に由来している

ことから、天皇賞最多勝利の武豊騎手について、その家系や御下賜品競走の縁についても紹介しました。

春季及び夏季には、特別展『うまたび umatabi ～競馬場への招待～』をギャラリーにて開催しました。前期と後期に分け JRA 全 10 競馬場の特徴や様々な魅力を紹介するとともに、競馬場周辺の馬が関わるスポット等を紹介し、観光としての来場を提案する「うまたび」の展示を行いました。また関連展示として『競馬と鉄道』を特別展示室にて開催しました。来場者の足として今も昔も愛されてきた競馬場最寄り駅の歴史や、鉄道と競馬との深い関係について紹介しました。

秋季には、秋季企画展『前略ディーパインパクト様 ～関係者から DEEP への手紙～』をギャラリー・エントランスホールにて開催しました。競馬ファンのみならず一般大衆を惹きつけ社会現象を巻き起こしたディーパインパクト号について、生産者、調教師、騎手等関係者の同馬への手紙・メッセージを展示するとともに、現役当時の蹄跡と種牡馬としての活躍を紹介しました。

また、企画展『競馬文化の広がり ～馬事文化賞 30 年～』をエントランス及び馬の学び舎 ミュージアム・ホールにて開催しました。JRA 賞馬事文化賞は昭和 62 年度に制定され今年で 30 年を迎えたことから、過去の受賞者・作品を振り返るとともに、この 30 年間で広がりを見せた競馬・馬文化の中から競馬や馬を題材とした漫画、ゲーム及びドラマ等を紹介しました。また、『八代亜紀絵画展 ～馬に恋する秋～』を特別展示室にて開催しました。歌手としてのみならず画家としても活躍している八代亜紀氏の絵画について、馬をモチーフとした新作を始め展示しました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	H28. 10. 1～ H29. 1. 22	秋季特別展 根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバ を初めて <small>そうろう</small> 候
2	1. 28～10. 1	特別展 うまたび umatabi ～競馬場への招待～
3	10. 7～11. 26	秋季企画展 前略ディーパインパクト様 ～関係者から DEEP への手紙～

(2) テーマコーナー

	展示期間	展示タイトル
1	H28. 11. 2～ H29. 2. 5	馬事文化財団創立 40 周年記念 馬の博物館 所蔵 資料展
2	2. 8～3. 26	2016 年度 JRA 賞展
3	3. 29～8. 27	競馬場今昔物語 ～変わりゆく競馬場の風景～
4	8. 30～11. 26	ダートの熱き戦い ～ダートグレード導入から 20 年～

## (3) 特別展示室

	展示期間	展示タイトル
1	H28.10.1～ H29.1.22	秋季特別展 根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバ を初めて 候 <sup>そうろう</sup>
2	4.22～8.27	特別展関連展示 競馬と鉄道
3	9.30～10.29	伯樂会展
4	11.1～11.26	八代亜紀絵画展 ～馬に恋する秋～

## (4) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	H27.12.10～ H28.2.5	第 36 回ジャパンカップ優勝馬展
2	2.11～6.3	2017 年度新人騎手紹介展
3	6.10～7.23	第 84 回東京優駿（日本ダービー）優勝馬展
4	9.23～11.26	企画展「競馬文化の広がり～馬事文化賞 30 年」

## (5) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	2.25～4.23	三冠馬 ～世代の頂点に輝いた優駿たち～	阪神競馬場アメニティホール

## (6) 常設展示機器等

展示パネルや常設展示機器「サラブレッドサイアーライン」、「サラブレッドモニタージュ」に第 84 回日本ダービー優勝馬レイデオロ号の情報を追加更新しました。

常設展示機器「重賞競走ビデオ BOX」には、平成 29 年度分の重賞競走映像を追加しました。

また、「ターフィーシアター」において「日本ダービーレース映像集」及び「ジャパンカップレース映像集」の上映を行いました。

## (7) 「馬の学び舎ミュージアム・ホール」

展示・映像・常設展示の各コーナーで構成しており、展示コーナーでは博物資料の展示と解説パネルの設置、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置で平成 27 年度に制作した“馬の祭”と“在来馬”にまつわる映像作品（22 本）及び平成 28 年度に制作した“アニメ「馬物語」”（3 本）について上映プログラムを設定し上映、常設展示コーナーでは等身大の馬像（ばん馬・サラブレッド・日本在来馬）を展示しました。また、特定日においては、ステージを設置してイベントを行うなど多目的に活用しました。

〈馬の学び舎 馬事文化紹介映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル		作品区分	タイトル
1	馬の祭	加賀美流騎馬打毬	14	馬の祭	出水神社 武田流流鏑馬
2	〃	チャグチャグ馬コ	15	〃	八代妙見祭
3	〃	相馬野馬追	16	〃	幻の琉球競馬 (前編)
4	〃	流鏑馬まつり	17	〃	幻の琉球競馬 (後編)
5	〃	大國魂神社 くらやみ祭	18	在来馬	どさんこ 北海道和種馬
6	〃	小室浅間神社 流鏑馬祭	19	〃	木曾馬
7	〃	おまん和祭り	20	〃	野間馬
8	〃	藤森祭 駈馬神事	21	〃	対州馬・御崎馬・ トカラ馬
9	〃	上賀茂神社 賀茂競馬	22	〃	宮古馬・与那国馬
10	〃	熊野速玉大社 例大祭	23	アニメ 馬物語	走れ！ドンタ
11	〃	大浦神社 競馬神事	24	〃	博物館は大騒ぎ
12	〃	御霊会風流 馬入れ神事	25	〃	頑固馬 ミカゲじいさん
13	〃	菊間祭り			

当館の認知度向上・来場促進及び多目的機能の積極的な活用を目的として、東京競馬開催期間を通じて幅広い来館者層に訴求するイベントを実施しました。トークショーとして1回東京ではアニメ「馬物語」監督・出演声優を招いた『監督・声優が語る「アニメ馬物語」メイキングトーク』、2・3回東京では特別展と連動し「競馬と鉄道」展の協力者であるアナウンサーの矢野吉彦氏等を招いた「競馬と鉄道展記念スペシャルトーク」及び新進気鋭の若手調教師を招いた「トレーナーズトーク ～強い馬づくりにかける思い～」、4・5回東京では秋季企画展と連動しディープインパクトに所縁がある方を招いた「ディープインパクト展オープニングトーク」、「ディープインパクト展スペシャルトーク」及び JRA 競走馬総合研究所の協力による「特別馬学講座 ディープインパクト～その走りの秘密～」等を実施するとともに、ワークショップ、ガイドツアー及びクイズラリー等を行いました。  
(別添資料 I)



(8) 競馬博物資料等の調査・研究

特別展『うまたび ～競馬場への招待～』及び関連展示『競馬と鉄道』、秋季企画展『前略ディープリンパクト様 関係者から DEEP への手紙』、企画展『競馬文化の広がり～馬事文化賞 30 年』、テーマ展『競馬場今昔物語』開催のため、JRA 栗東トレーニング・センター、ノーザンファーム、社台スタリオンステーション等で調査を行いました。また、次年度の常設展示改修や特別展示開催に伴う調査のため JRA 美浦トレーニング・センター、下河辺牧場、レイクヴィラファーム等において調査を行いました。

(9) 競馬博物資料の収集

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	レイデオロ号馬主服（第 83 回日本ダービー優勝時着用）1 点
2	C. ルメール騎手使用鞭（第 83 回日本ダービー優勝時使用）1 点
3	競馬記念品（ストップウォッチほか）計 35 件
4	風景入通信日付印 43 枚
5	H. ボウマン騎手使用鞭（第 37 回ジャパンカップ優勝時使用）1 点
6	2017 年香港国際競走関係資料
7	平成 9 年ドバイシーマクラシック優勝記念品他 2 点

② 購入した資料（1 点 20 万円以上）

	資料名
1	ゴールデンフリース（1982 年優勝）着色写真
2	ティーンソ（1983 年優勝）着色写真
3	スリッパアンカー（1985 年優勝）着色写真
4	天野喜孝「Carousel」

(10) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	『伝説の圧勝劇～記憶に残る主役たち～』展示パネル 32 点	浦河町馬事資料館・新ひだか町博物館	7. 20～9. 29
2	第 1 回バーデンバーデンカップ優勝賞品	JRA 福島競馬場	8. 1～ H30. 7. 30
3	野平祐二 1000 勝達成記念品等 8 点	株式会社サンフォニックス(グリーンチャンネル番組制作会社)	12. 1～ H30. 2. 14

(11) 資料の管理・保存

- ① 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- ② 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しました。

(12) ワークショップ等普及イベント

馬に対する関心を高め、来場促進を図るため、乗馬センターとも連携し、各種イベントを実施しました。

① アニメ「馬物語」 上映開始企画

アニメ「馬物語」の鑑賞促進を図るため、下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	アニメ馬物語スタンプラリー	全 3 作品を鑑賞したお子様にアニメオリジナルグッズをプレゼント	1.5～ 1.22

② 「乗馬センターとの連携イベント」

東京競馬場パークウインズ開催日において、乗馬センターとの連携イベントを下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	「馬とのふれあいイベント」&「競馬博物館で楽しもう」	体験乗馬、馬車乗車参加者に当館にてスタンプラリーを実施し、オリジナルグッズをプレゼント	3.25 4.2 4.8 4.15 4.16
2	学芸員講座&「馬車の運行」	当館で馬についての解説を行った後、東京競馬場内で馬車に乗車	4.16

③ 「春休み」 特別企画

ご家族向けの企画としてのワークショップ等を、下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	馬のペーパークラフトを作ろう	在来馬の紙模型を製作	3.26
2	はにわ馬を作ろう	馬の学び舎ではにわ馬に馬の解説を行った後、粘土を使って実際にはにわ馬を製作	4.2

④ 「ゴールデンウィーク」 特別企画

ご家族向けのワークショップとして下表のイベントを実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	馬の焼き物に絵付けをしよう	素焼きの馬に水性マーカーで絵付けを行うもの	5.3
2	競走馬のペーパークラフトを作ろう	競走馬の紙模型を製作	5.5

⑤ 「夏休み」 特別企画

ご家族向けの企画として下表のイベントを実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	競馬博物館アトラクションマスターになろう	展示アトラクション機器の説明を受けながら楽しむ	8.19 8.20

⑥ 団体見学プログラム

馬の学び舎ミュージアム・ホールの中型映像装置を活用した馬に関する講義及び映像鑑賞等を内容とした「団体見学プログラム」を下表のとおり実施しました。

	団体名	人数	実施プログラム	実施日
1	デジカメウォーキングクラブ	40名	映像「八代妙見祭」	1.19
2	日本セカンドライフ協会	20名	学芸員による館内説明 乗馬センター見学	3.16
3	栃木県立栃木農業高校農業科	44名	学芸員による館内説明	5.26
4	東京RSC	17名	講義「馬を知る」	6.15
5	府中市観光ボランティアの会	38名	講義「馬を知る」	6.21
6	東関東馬事高等学院	7名	学芸員による館内説明	7.12
7	シニアクラブ・こぶし会	20名	学芸員による館内説明	9.13
8	ひぐらし文化会さわやかウォーキング	15名	学芸員による館内説明	10.1
9	ウインズ後楽園従事員研修	36名	学芸員による館内説明	10.12
10	同志社東京歩こう会	35名	学芸員による館内説明	10.26
11	府中市立府中第十小学校	38名	講義「馬を知る」	11.8
12	NHK 学園	14名	講義「馬を知る」	11.9
13	北海道大学同窓会	13名	学芸員による館内説明	11.11
14	府中市観光ボランティアの会	35名	講義「馬を知る」	11.22

## 2 案内業務及び入館者

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を行いました。

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	備考					
1月	18日	5,061	281	開催日	2日	パークウインズ	9日	平日	7日
2月	17日	8,258	486	開催日	6日	パークウインズ	3日	平日	8日
3月	23日	7,427	323	開催日	0日	パークウインズ	9日	平日	14日
4月	22日	10,959	498	開催日	4日	パークウインズ	6日	平日	12日
5月	21日	20,092	957	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	13日
6月	19日	13,192	694	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	11日
7月	17日	6,116	360	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	9日
8月	22日	7,098	323	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	14日
9月	22日	5,568	253	開催日	0日	パークウインズ	10日	平日	12日
10月	21日	13,271	632	開催日	9日	パークウインズ	1日	平日	11日
11月	20日	17,431	872	開催日	8日	パークウインズ	1日	平日	11日
12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29年計	222日	114,473	516	開催日	45日	パークウインズ	55日	平日	122日
28年計	238日	85,536	359	開催日	45日	パークウインズ	60日	平日	133日
前年比(%)	93.3	133.8	143.6						

※6月26日～7月7日 館内整備のため臨時休館

※11月27日～平成30年4月中旬(予定) 改修工事のため臨時休館

\*1日最高入館者数

開催日 4,523人 5月28日(日本ダービー競走当日)

パークウインズ日 1,536人 7月9日(東京競馬場花火大会当日)

祝・平日(非開催日) 786人 5月5日(こどもの日(ゴールデンウィーク))

\*1日平均入館者数/総入館者数

開催日 1,490人/67,064人

パークウインズ日 417人/22,929人

祝・平日(非開催日) 201人/24,480人

\*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
530	342	657	170	6	177	91	1,935	1,140

### Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）の事業

#### 1 Gate J. 新橋の事業

- ① 施設内の壁面等を活用したパネル展示等を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H28. 12. 14 ～H29. 3. 20	ミニ展覧会「障害競走の歴史(後期)」
2	H28. 12. 20 ～H29. 1. 30	高谷義則作品展
3	2. 8～2. 27	輝サラブレッド
4	3. 1～3. 27	JRA 競馬学校騎手作品展
5	3. 22～7. 6	ミニ展覧会「競馬のかたち(パート1)」
6	4. 12～7. 19	キルギスと馬写真展
7	7. 5～9. 18	馬具の歴史
8	7. 26～9. 25	引退馬フォーラム展
9	9, 20～H30. 1 月中旬	ミニ展覧会「さまざまな競馬のかたち(パート2)」
10	11. 22～11. 27	引退馬フォーラム展
11	12. 6～H30. 1 月中旬	高谷義則作品展

- ② Gate J. 内スタジオにおける、中央競馬のGI競走のレース検討会等のトークショーやグリーンチャンネルの放送番組「草野仁の Gate J. + (プラス)」の公開収録を開催しました。また、競馬場における出張イベント（在来馬保護チャリティーイベント）・JRA 競馬博物館及びその他施設での出張イベントを計44回実施しました。
- ③ 大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設紹介や展示の案内等を行いました。
- ④ Gate J. 新橋に設置している映像機器は、機器の老朽化が目立ち業務運営に支障をきたしていることから、映像機器等の一部更新工事（8月17日～11月30日）を実施しました。

#### 2 Gate J. 梅田の事業

- ① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H28. 11. 5 ～H29. 1. 18	ミニ展覧会「伝説の圧勝劇」パート3」
2	1. 7～1. 31	輝サラブレッド
3	1. 21～4. 4	ミニ展覧会「障害競走の歴史(前期)」
4	3. 4～3. 28	JRA 競馬学校騎手作品展
5	4. 8～7. 25	ミニ展覧会「障害競走の歴史(後期)」
6	7. 26～9. 5	キルギスと馬写真展
7	7. 29～9. 19	ミニ展覧会「さまざまな競馬のかたち(パート1)」
8	9. 23～H30. 1 月下旬	ミニ展覧会「馬具の歴史」

- ② Gate J. 内において中央競馬の G I 競走のレース検討会等のトークショーに加え、競馬場における出張イベント（在来馬保護チャリティーイベント）を計 3 回実施しました。
- ③ 館内モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組等を放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を行いました。

### 3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	11,177	466	17日	20,904	1,230
2月	24日	11,237	468	16日	18,332	1,146
3月	27日	13,540	501	16日	19,090	1,193
4月	25日	12,507	500	19日	25,169	1,325
5月	24日	12,466	519	18日	29,796	1,655
6月	26日	12,457	479	16日	20,299	1,269
7月	26日	11,786	453	18日	19,602	1,089
8月	25日	11,180	447	17日	17,325	1,019
9月	26日	11,620	447	17日	17,481	1,028
10月	26日	11,607	446	20日	25,119	1,256
11月	25日	12,782	511	18日	24,518	1,362
12月	24日	14,890	620	20日	34,097	1,705
29年計	302日	147,249	488	212日	271,732	1,282
28年計	299日	140,054	468	210日	282,068	1,343
前年比 (%)	101.0	105.1	104.3	101.0	96.3	95.5

\*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 1,003人 3月24日（「草野仁のGate J.+」公開収録日）  
 Gate J. 梅田 3,939人 12月23日（有馬記念前日）

## IV 広報活動

### 1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業フィルムを、JRA 競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等において同館の展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA 各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ③ 地元メディアに対して適時、情報提供を積極的に行うとともに、テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ④ ホームページ及び Facebook を活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに施設紹介等の動画配信を行うなど情報提供及び馬文化の普及を図りました。

- ⑤ 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等をイベント等の開催時に効果的に配布することにより、広報活動の一助としました。

## 2 JRA 競馬博物館

- ① 「JRA 競馬博物館」紹介動画及び展示・イベント案内を JRA 競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等にて放映しました。
- ② 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ③ 東京競馬場内のインフォメーション及び各入場門において当館案内パンフレット及びイベントパンフレットを常置し、来館促進及びイベント告知を図りました。
- ④ 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に利用し、来場者等への広報活動を展開しました。
- ⑤ テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑥ ホームページ及び Facebook を活用し最新情報・展示情報を随時更新し、情報を発信しました。
- ⑦ JRA の特別プロモーション企画「キングダムダービー」と連携し、馬の学び舎ミュージアム・ホールを会場とした企画展示に協力しました。
- ⑧ オリジナルカレンダーを制作し、アンケート参加記念品として入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。
- ⑨ 秋季企画展開催前には JRA 広報部との協力により都内のスポーツ新聞各社に秋季企画展の告知活動を行いました。

## 3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等を Gate J. や JRA 競馬場等におけるイベント等の開催時に効果的に配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページに最新のイベント情報等を随時更新するとともに Gate J. イベント等の動画配信を行うなど情報提供等の充実を図りました。
- ③ 館内大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルム及び特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業フィルムを放送しました。

## V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

## VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況

### 1 受入れ状況

平成 29 年度においては、総額 1,266,420 円の寄附金を受入れました。  
(別添資料Ⅱ)

### 2 使用状況

平成 29 年度においては、対州馬放牧施設の整備を図るため、公益社団法人日本馬事協会に 3,555,254 円の寄附を行うことを決定しました。なお、その交付は、当該施設の完成後に行う予定です。

## VII 庶務

### 1 評議員に関する事項 (平成 29 年 12 月 31 日現在)

氏名	就任日	退任日
井上 謙吾	H25. 1. 4	
小笠原信夫	H25. 1. 4	
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
川崎 泰彦	H28. 4. 4	
吉崎 一郎	H29. 3. 21	
中村 嘉宏	H27. 3. 1	H29. 3. 21

### 2 役員等に関する事項 (平成 29 年 12 月 31 日現在)

#### (1) 役員

役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	小島 薫	H29. 3. 1		
理事長	畑山 光伸	H24. 3. 1	H29. 2. 28	
専務理事	荒木喜一郎	H26. 9. 16		
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1		非常勤
理事	大井 俊雄	H28. 2. 25		非常勤
理事	栗田 晴夫	H28. 2. 25		非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23		非常勤
監事	平野 浩章	H29. 3. 21		非常勤
監事	田中 哲也	H28. 4. 4	H29. 3. 21	非常勤

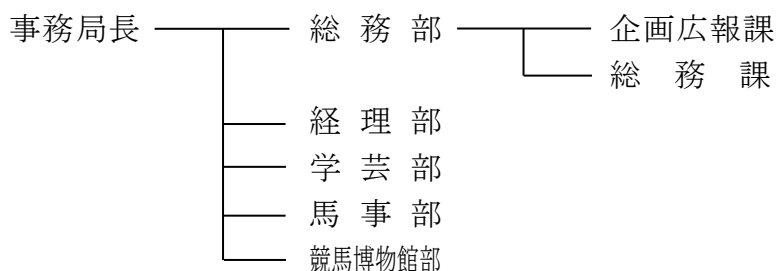
#### (2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
富岡 義雄	H26. 3. 1		非常勤



(3) 職員及び組織図

職員 21 名、嘱託 2 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.23	①平成 28 年度事業報告書について	7 名	6 名	全員賛成
		②平成 28 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	7 名	6 名	全員賛成
		③定款の一部改正について	7 名	6 名	全員賛成
		④評議員及び役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	7 名	6 名	全員賛成
		⑤理事の選任について	7 名	6 名	全員賛成
		⑥任期満了に伴う評議員の選任について	7 名	6 名	全員賛成
2	書面決議 3.21	①当財団評議員として吉崎一郎様を選任することについて	7 名	7 名	全員賛成
		②当財団監事として平野浩章様を選任することについて	7 名	7 名	全員賛成
3	12.8	①平成 30 年度事業計画書について	7 名	6 名	全員賛成
		②平成 30 年度収支予算書について	7 名	6 名	全員賛成
		③役員の報酬等の総額の設定について	7 名	6 名	全員賛成

## (2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果	
			現在数	出席数		
1	2.8	①平成28年度事業報告書について	5名	5名	全員賛成	
		②平成28年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	5名	5名	全員賛成	
		③定款の一部改正について	5名	5名	全員賛成	
		④評議員及び役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	5名	5名	全員賛成	
		⑤理事候補者の評議員会に対する推薦について	5名	5名	全員賛成	
		⑥任期満了に伴う評議員候補者の評議員会に対する推薦について	5名	5名	全員賛成	
		⑦第1回評議員会の開催について(報告事項)	5名	5名	全員賛成	
		①理事長及び専務理事による職務の執行状況について				
2	3.1	①理事長の選定について	5名	5名	全員賛成	
		②評議員候補者の評議員会に対する推薦について	5名	5名	全員賛成	
		③監事候補者の評議員会に対する推薦について	5名	5名	全員賛成	
		④特別退職手当の支給について	5名	5名	全員賛成	
3	11.24	①平成30年度事業計画書について	5名	5名	全員賛成	
		②平成30年度収支予算書について	5名	5名	全員賛成	
		③役員の報酬等の総額の設定について	5名	5名	全員賛成	
		④第3回評議員会の開催について(報告事項)	5名	5名	全員賛成	
		①理事長及び専務理事による職務の執行状況について				

別添資料 I 「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」 イベント一覧

	イベント名	内容	実施日
1	監督・声優が語る「アニメ馬物語」メイキングトーク	新作映像「アニメ馬物語」の宅野誠起監督と出演声優が、アニメ制作の舞台裏や馬への印象などを語った	2. 18
2	特別展「競馬と鉄道」記念スペシャルトーク	特別展「競馬と鉄道」を監修されたアナウンサーの矢野吉彦氏と地図研究家の今尾恵介氏が、競馬と鉄道の関わりやその歴史的背景などを紹介	5. 14
3	トレーナーズトーク「強い馬づくりにかける思い」	大竹正博調教師、尾関知人調教師、斎藤誠調教師が、日頃抱いている「強い馬づくりにかける思い」などを語った	6. 4
4	ディープインパクト展記念オープニングトーク	秋季企画展を記念し作家の島田明宏氏と俳優の宮川一朗太氏が、同馬への印象や思い出などを語った	10. 8
5	ディープインパクト展記念スペシャルトーク	管理した池江泰郎元調教師と生産牧場であるノーザンファームの横手裕二調教主任が、現役時及び育成期における同馬への印象や思い出などを語った	10. 29
6	特別馬学講座「ディープインパクト その走りの秘密」	JRA 競走馬総合研究所 高橋敏之運動科学研究室長が、運動科学の観点から同馬の走りの秘密を紹介	11. 12
7	ワークショップ&馬像試乗体験	お子様向け工作教室を実施し、完成後は馬像試乗体験	2. 11 5. 27 6. 25 10. 28 11. 25
8	お馬さんとのお絵描き&ふれあいイベント	東京競馬場乗馬センター繋養馬エミのお絵描きとふれあい	5. 6
9	博物館ガイドツアー	特別展、企画展について財団学芸員が解説	2. 12 4. 30 5. 28 10. 16 11. 11
10	馬の博物館出張講座	馬の博物館学芸員が当館にて出張講座を開催	1. 29 6. 18 11. 19
11	競馬博物館内クイズラリー	競馬博物館内をくまなく回り展示に隠されたヒントを手掛かりに参加するクイズラリーを実施し、正解者には抽選で賞品プレゼント	2. 5 5. 7 11. 5 11. 26

12	競馬博物館オリジナルグッズプレゼント&クイズラリー	当日開催の在来馬保護チャリティーイベント募金参加者を対象に、来館者に対してグッズプレゼントとクイズラリーを開催	5.20 5.21 10.21 10.22
13	馬像試乗会	馬の学び舎内の等身大馬像模型への試乗体験	2.18 4.29 5.20 6.3 10.15 11.18
14	アニメ馬物語キャラクターぬり絵大募集	アニメ馬物語に登場するキャラクターを描いたぬり絵を募集し、掲出作品にアニメオリジナルグッズをプレゼント	2.18 2.19

別添資料Ⅱ 寄附金・募金の受入れ状況

1 在来馬保護チャリティーイベント

実施日	実施場所	内容〔派遣馬〕	募金額 (円)
3.18	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	サクラウィークイベント ミカン・ゆき	7,515
3.25	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	サクラウィークイベント ミカン・ゆき	6,200
4.1	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	サクラウィークイベント ミカン・ゆき	1,802
4.8～9	阪神 RC 桜花賞施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	189,094
5.5	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	馬とあそぼうこどもの日 ミカン・ゆき・サンゴ	18,250
5.20～21	東京 RC オークス施行週	Gate J. Presents ミカン・サンゴ	372,117
8.5～6	ウインズ新横浜 馬の博物館	ウインズイベント ミカン・(ホワイトミニ)	23,899
8.26～27	新潟 RC 新潟2歳S施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	33,570
9.30	駒沢公園 動物感謝デー2017	動物感謝デーイベント ミカン・(ホワイトミニ)	22,408
10.21～22	東京 RC 京都菊花賞施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	160,564
11.3	馬車道 馬車道まつり	Gate J. イベント ミカン・ゆき・サンゴ	41,627
11.5	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	馬とのつどい2017 ミカン・ゆき	12,900
11.18～19	京都 RC マイルチャンピオンシップ施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	177,326
合計			1,067,272

2 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1月～12月 合計 99,148円

3 個人による寄附金

(1) 在来馬保護事業

受入日	寄附金額 (円)
11.23	30,000
12.4	20,000
合計	50,000

(2) 用途を指定しない

受入日	寄附金額 (円)
4.20	50,000
合計	50,000